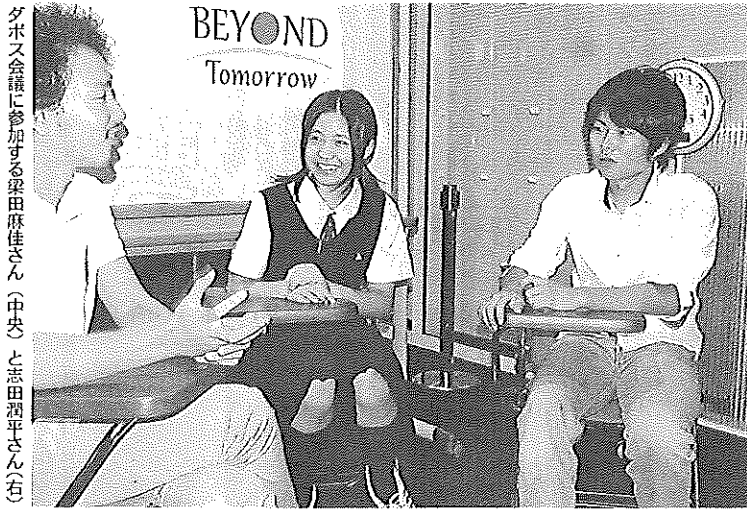


# 被災の若者 国際会議へ

梁田さん(慶応大)と志田さん(岩手大)



夕ボス会議に参加する梁田麻佳さん(中央)と志田潤平さん(右)

## 中国で状況訴え

### 四川の遺児と交流も

盛岡市の盛岡一高1年梁田麻佳さんと岩手大工学部1年の志田潤平さんは、14、16日に中国・大連市で開かれる世界経済フォーラムの年次総会(夕ボス会議)に参加する。東日本大震災被災地の高校生、大学生の代表として、被害状況や支援への感謝などを世界に発信。現地住民や四川大地震の遺児らとも交流し、日中間の相互理解を深める。

一般財団法人教育支援 崎町出身。震災当日は仙台市にいて、家族と連絡が取れない状況だった。BEYOND Tomorrow 大船渡市を訪れたのは3月11日の一環。2人は、両親は現在、仮設住宅で生活している。

志田さんの目標は都市計画を学び、地元への街づくりに貢献すること。今

梁田さんは釜石市鶴住の自分がいるのは国内外からの支援のおかげ。感謝の気持ちとともに、地域との結びつきを伝えることが大切だと感じた。被災者の気持ちを伝えることが大切だと感じた。

教育支援グローバル基金の井上裕太・事業統括は「世界のリーダーが集まる会議への参加を、自分を励み、夢に向けた第一歩にしてほしい」と願う。

同会議には梁田さんとし、痛みを和らげたい」と語る。志田さんは大船渡市赤

福島両県の高校生3人、大学生2人も参加する。